

令和4年度事業報告

公益社団法人 八王子市シルバー人材センター

【概 要】

公益社団法人八王子市シルバー人材センター(以下、「当センター」という。)は、社会参加意欲ある高齢者に対し、就業機会及び社会奉仕活動の機会を確保し、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを目的に事業展開を図ってきました。

令和4年度は、第3次中期5カ年計画の最終年として、次期計画に向けてウィズコロナを念頭に置き、多方面からのコスト削減を図るとともに、ICTの活用にも取り組んでまいりました。その結果、受託件数・就業率は計画の目標値には及びませんでした。3期ぶりに収支改善が図られ、黒字決算とすることができたところであり、新たな社会状況に対応した体制の基礎を築くことができたと認識しています。

その中で、請負事業についてはコロナ禍以前の水準から微増となっていますが、清掃関係業務をはじめとしたご依頼の多い受注に対する就業会員の確保など、新たな課題も浮かび上がってきています。

派遣事業については仕事の実施状況を整理して、請負から派遣へ形態を切り替えた業務が増えたこと。また、就業開拓専門員を中心として企業訪問活動を行い、新たな契約・受注拡大につなげることができたことにより、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも約3億円規模まで成長することができました。

会員増強では従来行ってきた大横保健福祉センターでの入会説明会に加え、東部交流室やオンラインでも説明会を開催し、12月末には2,700名を超える会員数となりました。3月末現在2,622名、前年同期比で62名増となっています。

会員が協力して行う社会奉仕活動は、11月の浅川河川敷清掃ボランティア活動、いちよう祭り清掃ボランティア活動のほか、女性委員会が民間企業と共働して実施した「ハーバリウム教室」は月刊シルバー人材センターに特集記事として取り上げられるなど、注目される取り組みとなっています。

安全就業については18件の傷害事故が発生し、残念ながら過去5年間で最高の件数となってしまいました。事故内容は、転倒が12件と大きな割合を占めており、うち7件が就業場所への行き帰りで段差につまずくという内容でした。この対策として、「おおり」で特集を組むとともに繰り返し注意を呼び掛け、1月には当センターの産業医から「転倒予防」をテーマにした健康講話も開催しました。

社会全体に新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応体制が整う中、徐々に受注の回復が図られ、ほぼ感染拡大前の水準まで運営状況を回復することができましたが、令和5年度へ継続できなかった大口契約があり、大きな不安材料を抱えた、大変厳しい状況の中でのセンター運営が求められます。

については、引き続き会員の健康・安全を第一に、「地域に根差した信頼できる公益社団法人」を会員全員が意識し、「選ばれるシルバー人材センター」となるべく受注回復に全力で取り組む所存です。

【事業実施状況】

令和4年度に作成した事業計画及び第3次中期5カ年計画に基づき、社会情勢の変化や組織体制の改善に対応しながら以下のとおり事業を実施した。

1. 普及宣伝活動

- ①広報紙の発行「生きがい八王子」2回、「おおりり」11回を発行して事業のPRに努めるとともに情報の提供を行った。
- ②毎月2回事務所内に就業情報(毎月10日と25日)の掲示及び配布を行った。
- ③会員専用オンライン情報提供サービス「Smile to Smile」の活用を推進した。
- ④令和3年度に引き続き「市役所正面玄関デジタルサイネージ看板」「広報はちおうじ」「八王子駅前マルベリーブリッジ横断幕」「ごみカレンダー」で啓発を図った。東京しごと財団主催の写真展にもPR写真の出展を行った。
- ⑤公式ホームページの更新頻度を増やし、情報を新しくすることを心掛け、またオンライン入会のページを実装した。
- ⑥以下のイベントを開催、または参加した。

●にこにこフェア2022

- ・主 催 者 公益社団法人 八王子市シルバー人材センター
(大横保健福祉センターまつりと共同開催)
- ・実 施 日 10月23日(日)
- ・場 所 大横保健福祉センター横公園
- ・参加人数 36名
- ・来 客 者 129名

●いちょう祭り

- ・主 催 者 八王子いちょう祭り祭典委員会
- ・実 施 日 11月19日(土)～20日(日)
- ・場 所 陵南公園他
- ・参加人数 12名
- ・来 客 者 644名

●地域デビューパーティー

- ・主 催 者 地域デビューパーティー802実行委員会
- ・実 施 日 3月5日(日)
- ・場 所 オクトーレ(八王子市学園都市センター11F)
- ・参加人数 理事3名
- ・来 客 者 31名

●NPO フェスティバル

- ・主 催 者 八王子市市民活動支援センター
- ・実 施 日 11月3日(日)
- ・場 所 東京たま未来メッセ(東京都立多摩産業交流センター)
- ・参加人数 4名
- ・来 客 者 64名

2. 調査研究

センターの在り方や方向性の検討、女性会員が望む就業先の研究や会員増強など時代に沿った運営を実施した。

- ①未就業会員を減らすため、新入会員全員から就業希望職種をヒヤリングし、明確な希望先がある場合には職種班を紹介しつつ、希望職種の傾向から就業開拓の方向性を検討した。
- ②令和3年度から取り組むフードバンクボランティアについて多摩市シルバー人材センターより視察訪問があり、女性委員会によるボランティア活動について意見交換が行われた。

3. 相 談

①入会説明会について

引き続き新型コロナウイルス感染防止のため、密閉・密集・密接の三密を避け、感染防止対策を講じながら毎月第2金曜日に入会説明会、第3金曜日に入会面談を大横保健福祉センターで開催したほか、東部交流室でも入会説明会及び入会面談を7月・9月・10月・11月・1月・2月・3月の計7回実施した。さらに、10月よりオンライン入会説明会を開始し、利便性の向上を図った。

<入会説明会参加者>

大横保健福祉センター	380名（内入会者310名）
東部交流室	43名（内入会者 31名）
オンライン入会動画視聴後資料送付者	76名（内入会者 49名）

②入会面談について

理事と事務局職員による入会希望者との個別面談において、申込書類の確認や入会後のイメージなどについて一人あたり20分から30分程度のヒヤリングを実施した。

③イベント時の入会促進活動

いちよう祭りや地域デビューパーティーへ参加した際、ブースで当センターのPRを実施し、その場で入会希望者に具体的な手順の説明まで行った。

4. 就業機会の開拓及び提供

会員の就業率を高め、より多くの生きがいづくりに寄与するとともに地域社会への貢献を目的として就業機会の開拓及び提供を実施した。

- ①令和4年度は就業開拓専門員2名体制に対し欠員の補充ができず1名体制となったが、就業開拓に努めた4月から3月までで211件の訪問活動を行った。また令和4年度実績があった新規の発注者件数は801件となり、就業開拓の成果がみられた。
- ②会員の希望する業務と受注内容がマッチングしやすいように就業情報やホームページ上に詳細に掲載した。
- ③請負契約では受注が困難である業務も、顧客先に派遣契約により受注が可能であることを説明し、派遣実績の増加に努めた。
- ④業務委員会・女性委員会が中心となり、顧客訪問活動を通して継続発注者へのお礼と問題点のヒヤリング等を実施した。
- ⑤就業者のマッチングが難航した際などに地域班長へ相談を行い、地域班協力のもと未就業会員から適任者の選任を行った。
- ⑥市民及び会員を対象として英会話教室・筆耕教室・パソコンお助け隊を月1回開催した。
- ⑦東部交流室を拠点として、筆耕関連書類や事務文書の受け渡しなど発注者・会員の利便性を向上させた。またパソコン教室、英会話教室、ウクレレ教室などを開催した。
- ⑧八王子市福祉部高齢者いきいき課と連携し、請負・派遣での就業機会拡大に向けて各所管課へのアプローチを行った。また、ボランティア要素を含む就業研修場所の提供など、公益活動の実施に関して多大なご支援をいただいた。
- ⑨特定職場機能を継続し、希望者の多い就業先については3年の就業継続期限を設け、公平な就業機会の提供に努めた。また、交替のタイミングを昨年度と同様に10月とし、年度切り替えのタイミングで発注者の混乱を招くことがないように努めた。
- ⑩ハローベビーサポート(産前・産後サポート事業)の強化を目的とし、会員に対して希望を募り、介護系や家事援助業務を含む組織化の検討を開始した。
- ⑪東京しごと財団やハローワークなどからの就業支援講習案内やシルバー人材センター以外の就労情報を開示し高齢者の広域的な就業機会拡大に努めた。
- ⑫女性委員会が中心となりハーバリウム教室を企画。東京都のサロン事業や市と連携し中野団地やイトーヨーカ堂などで開催しPRに努めた。

5. 会員の増強

より多くの市内高齢者が生きがいや収入を得られる機会を提供するため就業機会拡大を図るとともに、会員数増加のため普及宣伝活動や関係団体との連携事業を実施した。

- ①新型コロナウイルス感染症の影響もあった中、入会説明会を毎月開催し、前年度比62名増となった(令和3年度末:2,560名)。
- ②いちょう祭り、地域デビューパーティー及び各地区市民センター祭り等に理事が中心となって参加し、新入会者勧誘に努めた。
- ③「おおるり」に会員募集の記事を毎号掲載し、閲覧者への協力を要請した。

④公式ホームページからの入会希望者を増やすためセンターの活動内容や魅力を伝えられるよう見直しや頻繁な更新を行った。

⑤前述の『1. 普及宣伝活動』にあるイベント参加や広報活動を通し会員募集に努めた。

6. 第3次中期5カ年計画に基づく目標(請負)に対する成果

	中期計画に基づく目標値	成 果
年間受託件数	13,420件	10,074件
会 員 数	2,800人	2,622人
就 業 率	80.8%	67.7% (※派遣事業含む 77.7%)
契約金額(請負)	894,146千円	714,359,875 円
就業延べ人員	188,530人	136,406人
ボランティア参加人員	14,750人	19,915人
傷害事故、賠償事故	0件	傷害18件、賠償5件 (シルバー総合保険報告件数)

※当年度入会会員の就業実績

入会会員	379人
就業会員	172人
未就業会員	207人

事業実績(請負)

公民別	受託件数	延実人員	延 日 人 員	契 約 金 額
公 共	530 件	13,901 人	64,463 人	316,529,207 円
民 間	9,544 件	19,167 人	71,943 人	397,830,668 円
合 計	10,074 件	33,068 人	136,406 人	714,359,875 円

7. 労働者派遣事業

就業開拓専門員の活動により新規顧客の開拓既存契約先の受注内容拡大といった成果もあり、2億9千万円を超える実績を上げることができ、令和3年度に続き都内シルバー人材センターで一位の受注実績を維持している。

事業実績（派遣）

公民別	受注件数	延日人員	契 約 金 額
公 共	16 件	31,706 人	203,968,350 円
民 間	119 件	13,360 人	93,747,539 円
合 計	135 件	45,066 人	297,715,889 円

①四半期ごとの事業進捗会議実施（4回）

事務局長（派遣事業所長）を中心として、派遣事業担当職員・就業開拓専門員・経理担当職員にて派遣事業実施状況の進捗確認を行った。

年間での実績見込みや新規受注・就業開拓中の内容を把握するほか、トラブルの発生状況や5年の雇用期間に関する検討など派遣事業に係る課題を情報共有し、円滑な事務遂行と事業拡大に努めた。

②事業分析表データベースの作成

業種別・業種（顧客）別に事業実績のデータベースを作成し、センターへの需要や強みなどを分析、動向判断に努めた。

③産業医による健康・安全面確認（月1回）

産業医である市内の勝田医院勝田真行医師をお招きし、会員の派遣労働環境について健康状態確認や安全状況確認の重要性を周知徹底した。

8. 研修・講習・会議

事業理念、目的を踏まえた研修や能力開発により就業機会を拡大するため、役員・会員、事務局職員が以下の講習・研修・会議に参加した。

① 公益財団法人東京しごと財団及び全国シルバー人材センター事業協会主催

（役員・会員）

●新任監事研修	4 月 15 日
●シルバー人材センター会長会議	7 月 4 日
●安全リーダー研修	7 月 27 日
●自転車安全利用講習会	11 月 8 日
●事故対応力向上研修	11 月 11 日

（事務局職員）

●新任主任研修	4 月 25 日
●新任職員研修	4 月 28 日
●新任安全就業推進員勉強会	6 月 29 日
●インボイス PT 会議	7 月 1 日
●課題改善研修	8 月 22 日
●シルバー派遣事業実務担当者研修	8 月 29 日
●職員昇任試験受講者研修	9 月 20 日・21 日・26 日

●シルバー人材センター事務局長会	10月7日
●主任昇任試験	11月17日
●職員研修「コミュニケーション」	12月16日
●営業力強化研修	1月20日

② 第七ブロック(近隣センター組織)シルバー人材センター主催

(役員・会員)

●会員研修「健康を支える食生活」	9月21日
●会員研修「腰すっきり体操」	10月19日
●安全就業研修会	10月26日
●会長・副会長会議	11月7日

(事務局職員)

●事務局長会議	月1回
●実務担当者会議	年9回
●職員研修「座禅」	7月6日
●職務担当者研修「経理」	7月28日
●事務局長代理会議	10月13日
●職務担当者研修「福祉・家事援助」	11月18日
●職員交換研修(府中)	12月15日・19日・21日
●職員交換研修(多摩)	12月19日・20日・21日
●職務担当者研修「植木」	2月22日
●コミュニケーション研修	2月24日

③ 八王子市シルバー人材センター独自によるもの

(役員・会員)

●女性会員懇談会	8月17日・1月23日
●ウェルネスセミナー	5月25日
●木造住宅簡易鑑定士資格取得講習会	5月6日
●「ごみ・資源物の出し方」講習会	6月22日
●「アンチエイジング美容」	9月27日
●健康講話「転倒」	2月9日

(事務局職員)

●町田市シルバー人材センター研修派遣	7月11日～12月26日
--------------------	--------------

④ その他の研修等

(事務局職員)

●上級救命講習	9月12日
●派遣元責任者講習	2月22日

9. 組織活動

会員全体の組織活動を推進し、自主・自立、共働・共助の発展に努めた。

① 地域班活動

新会員証へ切り替えるにあたり、令和3年度末から班長副班長により未交換の会員宅へ訪問、新旧会員証の交換を行った。

コロナ禍が続く中、感染対策を行いながら地区会議や地域懇談会を実施した。

② 職種班活動

コロナ禍の中でも各職種班内で工夫し、新規事業の実施や職種ごとの課題についての対策を行い、事業の継続、拡大に努めた。

③ 定時社員総会

ワクチンの接種が進み、コロナ対策での制限が緩和されるなか、十分な感染症対策を講じた上で3年ぶりに参集形式での定時社員総会を開催した。

④ 事務局の運営

昨年度に引き続き職員の経験を高めるため、7月から12月にかけて職員1名を近隣のシルバー人材センターへ研修派遣した。

10. 安全対策

「安全はすべてに優先する」をスローガンに掲げ、センター活動のみならず、会員が安全に生活できるよう情報提供を実施した。

① 安全衛生委員会での健康状況確認

月1回の安全衛生委員会で、産業医の勝田医師から健康状態に関するご指導をいただいた。また、転倒予防・フレイルの講話など安全意識向上の研修を実施した。

② 安全巡回の実施

令和4年度は安全巡回を8回実施。全国的に事故の多い植木・除草作業や実際に事故が起きてしまった就業現場へ安全管理委員が訪問し、現状の確認と安全指導を実施した。

③ 「おおり」での啓発

東京都で2020年4月から自転車保険が義務化となったことから、会員に対して損害賠償保険への加入を促した。その他、夏季には熱中症対策に関する案内や事故状況の報告、危険作業の注意などを時季に合わせて周知徹底した。

11. ボランティア活動

地域委員会を主体とし、以下のとおり様々なボランティア活動を実施した。広報配布時の見守りを継続して実施することで中期計画目標である14,750人を大きく上回る結果となった。

また、八王子市福祉部高齢者いきいき課・高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)と連携した、地域で発生する独居高齢者宅の異変等を迅速に報告する「見守り活動」を行うことで事故防止に努めた。

① 広報配布時見守り	19,604 人日	通年
② 富士見台公園清掃	5 名	5 月 25 日
③ 青少対清掃	8 名	7 月 9 日
④ 社会奉仕活動環境整備	166 名	9 月 28 日
⑤ 浅川河川敷清掃	50 名	11 月 6 日
⑥ いちょう祭り清掃	44 名	11 月 19 日～21 日
⑦ 全関東八王子夢街道駅伝競走大会	34 名	2 月 13 日
⑧ 東京マラソン祭り	4 名	3 月 5 日
⑨ フードバンク・子ども食堂支援	12 回持込	4 月～3 月

12. 諸会議の開催

- | | | |
|----------|-----|------------------|
| ① 定時社員総会 | 1回 | 令和4年6月16日(木)実施 |
| ② 理事会 | 12回 | 月1回(6月臨時理事会1回開催) |
| ③ 四役会会議 | 12回 | 月1回 |
| ④ 常任委員会 | | |

引き続きコロナ感染拡大防止のため密とならない環境で委員会を開催し、原則月1回の実施に努めた。

就業対策委員会については毎月10日、25日に発行する就業情報の会員選考を実施するため、通年開催とした。

- ⑤ 理事監事選考委員会 3回

令和5年度役員改選の為、推薦のあった会員より候補者を選考した。

- ⑥ 業務監査

令和3年度のプレ開催を踏まえ、令和4年度より事務局や各委員会業務についての業務監査を本格的に始動した。

(総務委員会) 12 回

- 会員の増強及び研修に関すること
- 新入会員の説明会及び面接に関すること
- 組織管理に関すること
- 財政、予算・決算に関すること
- 総会に関すること
- 市民及び会員交流事業の計画実施に関すること
- 事務の合理化に関すること

(業務委員会) 12 回

- 各職種班の取りまとめ
- 職種班新設の検討

(地域委員会) 10 回

- 新会員証の交換
- 班長・副班長の任期について
- シルバー読本班長副班長編

- 地区活動について
- ボランティア活動について
- (広報委員会) 12 回
 - センター広報誌「生きがい八王子」編集作業
 - ホームページ小委員会の設置
 - PR 活動の企画、実施
- (安全管理委員会) 8 回
 - 安全巡回
 - 就業時の安全管理、注意喚起
 - ヒヤリハット
 - 安全標語
 - 安全就業パトロール対応
- (女性委員会) 10 回
 - きさらぎ小委員会と共にフードバンク・子ども食堂支援ボランティア
事務局前と東部交流室に「えがおボックス」を設置
 - ハーバリウム教室の企画開催
 - 販売事業について視察
 - 講習会の企画立案
 - 女性会員の増強に関する取組
 - 家事援助就業開拓に関する取組
- (就業対策委員会) 24 回+特定職場選考対応
 - 就業会員の人選に関する事
 - 会員の就業上の問題に関する事
- (業務監査) 12 回
 - 監事による委員会・事務局に対する業務の適正確認
 - 各委員会委員長の事業実施に関する随時ヒヤリング

13. その他の事業

- | | |
|-------------------|---|
| ●小委員会きさらぎ「美術館めぐり」 | 5 月 27 日 |
| ●小委員会きさらぎ「秋の散策」 | 10 月 4 日 |
| ●高尾山ハイキング | 6 月 3 日・9 月 7 日・11 月 1 日・
12 月 17 日・3 月 24 日 |
| ●無料スマホ教室 | 5 月・7 月・9 月・10 月・3 月 |
| ●英会話教室 | 4 月～3 月(22 回) |
| ●すみれ会書道教室 | 4 月～3 月(10 回) |
| ●ウクレレ同好会 | 7 月～3 月(18 回) |
| ●あすなろカラオケ同好会 | 10 月 16 日・2 月 19 日 |
| ●無料ハーバリウム教室 | 11 月 8 日・18 日・2 月 21 日 |
| ●エコたわし教室 | 2 月 22 日 |